

転換期の社会に求められる力を培うための産学連繋型教育プログラム:QBIC

~Question Based Innovation and Career education program for societal transition~

(代表機関)

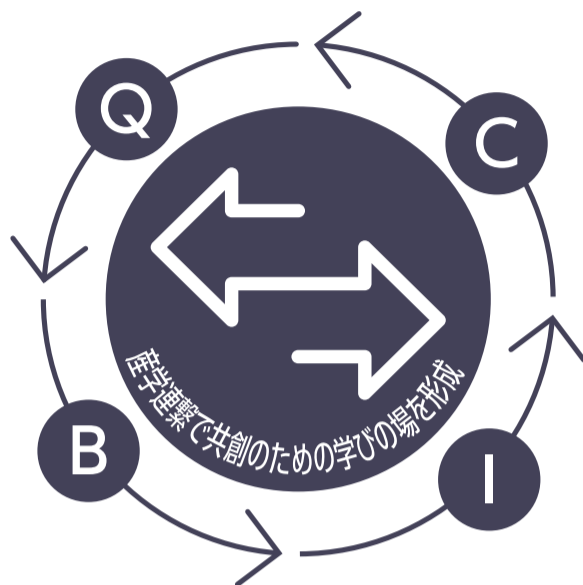


(協働機関/組織)



解のない時代の学び方を身に付ける学修サイクル:QBIC

リベラルアーツ教育 × キャリア教育 により転換期の社会を生き抜く力を伸ばす



リベラルアーツ教育を中心に

社会課題について前例の延長線で考えるのではなく、問題を自らの視点で捉えなおし、良いソリューションの創出にむけ、良い「問い」を再定義することを目指す。

- 1 | **Q**uestion
多様なミカタ/多面的な捉え方による「問い」の創出
- 2 | **r**e **B**uild of Question & Prototyping
「問い」の実践によって「解のない」時代への向き合い方を学ぶ
- 3 | **s**elf-**I**mprovement
変化に挑戦する姿勢と自信を身に付ける
- 4 | **C**ontinuous Learning
転換期の社会に必要な教養力を学びあうことで培う

キャリア教育を中心に

これまでの「知識」や「枠」に囚われない「学び(学び方)」を身に付けることで、常に自らをアップデート(アップグレード)するための力を身に付ける。

生涯にわたって「問い・学び続ける」ことの起点となるプログラムへ

産学連繋教育によるキャリア観の形成から『学び続ける力』を導く

QBIC教育プログラム



1 「問い」の創出 :Step-up プログラム

社会の問題を自らの視点で捉えなおすことから始め、「問いを立てる」「未来社会のビジョンを描く」「徹底的な議論から問いを再定義する」ことを繰り返すことで、質の良い「問い」とは何かを社会人メンターとともに考え抜くプログラム。

2 「問い」の実践 :Jump-up プログラム

地域や企業の課題に対して他大学の学生と学びあいとおして、自分たちの独自のミカタで「問い」を再定義することを入口に、具体的なソリューションの導出までを目指すプログラム。良い「ソリューション」は良い「問い」から導かれることを一連のプロセスで実践し、対処療法に陥らない「問い」を立てる力を身に付ける。

複数の大学や世代を越えて他者との学び合うことから「常に自らをアップデート(アップグレード)する」ことを身に付ける。

異なる大学の学生による混成チーム

「問いの実践」プログラム



産学連繋による循環する学びの場を形成



社会人メンター



社会人メンターとの切磋琢磨

「問いの創出」「問いの実践」プログラム

「学」と「産」が連繋することで「学生」だけでなく「社会人」の両者が成長できるモデル・仕組みを創る。



転換期の社会を生き抜くために必要な
「問いを立てる力」「学び続ける力」を
産学連繋型教育で涵養する